

自然物を使った工作

～自然の恵みを感じる工作～



概要				
時期	通年			
時間	90分～120分			
場所	室内でも屋外でも可			
対象	幼・保	小学生	中学生	大人
	○	○		
指導員派遣人数	10～20人あたり1人程度を派遣			
教科との関連	小1 生活科			



石のペンダント



松ぼっくりの作品



どんぐりや葉を使って

内容	
ねらい	・木の葉や木の実など自然の恵みを材料に使う工作を通じて、身近な自然への興味・関心や自分でも探してみたいという気持ちを持つ。
実施内容	・身近にどのような自然があるかを知る。 ・自然物(木の実、小枝、落ち葉、つる、流木、石など)を使って工作をする。
準備するもの	主催者 材料、工作に使用する道具(はさみ、きりなどの工具、ボンド、グルーガンなど) 参加者 材料 指導員 ※材料の用意は要相談
備考	・ <u>具体的な工作の内容は、事前の打ち合わせで決定します。</u> ・自分達で集めた材料で工作をすることができればいいですが、それができない場合には、指導員が材料等を用意することもできます。 ・子ども達が工作をする際には、主催者の大人の方がサポートをしてください。

プログラムの流れ

導入	・工作に使う材料(身近な自然の恵み)についてのお話やクイズをする。 (幼児や低学年には絵本の読み聞かせをすることもできます)
展開	・指導員が作り方を指導し、子ども達を作る。
共有	・作ったものを見せ合ったり遊んだりする。
まとめ・振り返り	・材料の自然物についてあらためて話をし、他にどのような自然の恵みがあるか子ども達に発表させたり、教えたりする。

発展	・自然物を集めることができる場所や工作に使える自然物の紹介をする。 ・野外での自然観察活動について話をしたりする。
参考図書	●●●